

-----12月6日-----

今週のアウトルック(12/6~12/10)

先週はトリシェECB総裁の記者会見と、米国雇用統計の発表に大きく動かされる結果となりました。

前者は、週初からユーロ圏財政問題沈静化からのユーロ買い戻しの流れを、本格化させることとなり、後者は予想以上に悪化したことから、ドル高の流れを大きく覆す方向に動きました。

ドル円は、雇用統計の結果を受けて、82円台中盤まで大きく下落しました。一度大きく米国景気回復に対する懐疑的な見方に傾いてしまったセンチメントを、覆すものが出てこない限りは、この流れを変えることはなかなか難しいかもしれません。

今週は徐々に円高方向へ進むのではないかと考えています。

ドル円の予想レンジは81円から83円です。

ユーロは、ユーロ圏財政問題は一旦終息というセンチメントが支配的になっているかのようです。ただ、トリシェECB総裁の記者会見後、一度は大きくユーロ売りに傾いていることから、この流れは投機筋のユーロ買い戻しの流れに大きく支配されているかのように思います。トレンドが大きく変わったと考えるより、材料さえ見つければ、再びユーロ売りたたきの流れに傾く危険性があることを考慮しておいた方が良いでしょうに思います。

ユーロ円はドル円下落、ユーロドル上昇の関係で、一方向へは動きづらい状況になっています。今週もこの流れは継続して、方向感のはっきりしない流れを考えています。

ユーロ円の予想レンジは107円から111円です。

ポンド円は、ポンドドル買い戻しの流れよりも、ドル円下落の影響の方が少し強いようです。今週もこの流れを継続するように思います。。

ポンド円の予想レンジは129円から131円です。

今週はクリスマス休暇を控えた利益確定の流れが本格化した場合、思わぬところで、流れが大きく変わってしまう状況も考えられます。あまり一方向の流れにこだわらない方が良いでしょうに思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。